

令和6年度 獨協医科大学公開講座

栃木県民カレッジ連携講座（健康スポーツコース） 共催：日光市 後援：日光市教育委員会

1. 募集定員 各回100名
2. 受講料 無料
3. 会場 今市保健福祉センター内会議室
4. 住所 日光市平ヶ崎109
5. 申込方法 FAX（裏面のFAX申込書）または右上のQRコードにてお申込みください。
6. 申込先 獨協医科大学地域共生協創センター FAX 0282-86-1300



1

1回目 7月6日(土)13:30~15:00

第1部

『再生医療最前線』

～関節が痛い変形性関節症の最新治療～

関節痛の最も多い原因である変形性関節症は80歳までにほぼ全ての人にある程度生じると言われています。その症状は、体重がかかる関節では歩行や立ち上がる時に痛みが生じ、手指の変形性関節症では痛みや手指の変形が生じます。本講演では、変形性関節症による関節痛の病態から従来の治療についてご説明するとともに、変形性関節症の治療に対する再生医療として近年行われている多血小血小板療法（PRP療法）について解説いたします。



整形外科
講師
瓜田 淳

第2部

『再生医療最前線』

～脂肪幹細胞による軟部組織再建の可能性～

近年、再生医療が実用化されてきており、実際の治療に普及し始めています。中でも脂肪組織は幹細胞の安定した供給源として注目が集まっています。形成外科では皮膚、軟部組織を中心とした外観・機能に対する治療を行っています。今回、脂肪由来幹細胞を用いた再生医療による、軟部組織欠損や放射線照射後後遺症に対する治療の可能性について、わかりやすくお話ししたいと思います。



形成外科学
講師
梅川 浩平

2

2回目

7月13日(土)13:30~15:00

『咳が止まらない！どうする？』

咳は患者さんが内科を受診する際に1番多い訴えと言われています。ただの風邪から、死に至る肺がん、また隔離が必要な結核もあります。1週間以内に発症した咳では、風邪が多くあまり心配ではありません。クリニックで対応可能です。しかし、3週間以上続く咳の多くは専門的な診察が必要です。「咳が止まらない！どうする？」と困ったさまざまな例を挙げながら説明いたします。



日光医療センター
呼吸器内科 准教授
知花 和行

3

3回目

7月27日(土)13:30~15:00

『罹患率の高いがんの診断と治療』

～早期に発見して確実な治療を～

日本人の2人に1人が生涯でがんになり、3人に1人はがんで亡くなると言われています。早期発見と適切な治療が大切です。罹患率の高い（かかる率の高い）がんのうち私たちが専門としている大腸がん・胃がん・乳がんについて検診・精密検査・治療の概要をわかりやすくお話ししたいと思います。



日光医療センター
外科 教授
山口 悟

先着順での受付とさせていただきます。
受講決定のご連絡は参加券（はがき）の発送をもって代えさせていただきます。

ご好評につき本年度は3講座を開催いたします。